

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 3 ACTA UROLOGICA JAPONICA March 1986

泌尿器科紀要

第32巻 第3号 1986年3月

上部尿路結石の成因に関する研究	
一 尿路結石形成危険因子の検討	野々村光生・ほか… 311
新しい酵素法によるポリアミン測定について	
第1報 本法における尿中ポリアミン分別定量の基礎的検討	酒井 俊助・ほか… 327
第2報 本法と他の尿中ポリアミン測定法の比較検討	酒井 俊助・ほか… 337
新しい酵素法によるポリアミン測定について	
第3報 尿路性器癌患者における尿中ポリアミン分別定量	酒井 俊助・ほか… 343
尿酸カルシウム結石患者における外来尿酸負荷試験の検討	加藤 雅史… 351
Male Uroflow Diagnostic Interpretation	
による正常成人男子の尿流量分析	水永 光博・ほか… 361
CDDP 投与にともなう尿中 NAG 活性の	
急性変動についての検討	吉田謙一郎・ほか… 369
腎細胞癌の治療	
第2報 ACNU & VBL 併用療法	小林 幹男・ほか… 375
膀胱腫瘍の組織化学的研究	伊藤 博… 385
前立腺癌に対する Staging pelvic lymphadenectomy の検討	荒井 陽一・ほか… 401
Mauermayer 法による経尿道的前立腺切除術の経験	森 義則・ほか… 407
Silicon Pig-tail Catheter について	和志田裕人・ほか… 413
80歳以上の高齢者泌尿器科手術患者の臨床的検討	徳永 周二・ほか… 423
腹膜外のおよび経尿道的手術後の腸管蠕動に対する	
Prostaglandin F _{2α} の臨床的効果	坂下 茂夫・ほか… 433
放射線併用 8MHz-RF 加温療法を行った	
腎癌術後の縦隔転移例	中嶋 和喜・ほか… 441
化学療法が著効した進行性腎盂腫瘍の1例	田代 和也・ほか… 449
経尿道的腎盂尿管鏡(硬性尿管鏡)検査により	
診断された重複腎盂尿管に発生した原発性尿管癌の1例	萬谷 嘉明・ほか… 454
前立腺平滑筋肉腫の1例	田寺 成範・ほか… 462
睾丸転移をきたした前立腺癌の1例	高橋 茂喜・ほか… 468
停留睾丸に合併した睾丸捻転症の1例	小出 卓也・ほか… 473
前立腺肥大症に対するアリルエストレノールの臨床効果	田島 惇・ほか… 477
前立腺肥大症に対するアリルエストレノールの臨床経験	郡 健二郎・ほか… 486
LH-RH Agonist, ICI 118630 による第I相臨床試験	宇佐美道之・ほか… 493

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
(例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP)
 - (ロ) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、
編集委員：石神 養次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修(主幹)
 3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。
- トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。